

# 平成29年5月 東京地区百貨店売上高概況

平成29年6月20日

## I. 概況

1. 売上高総額	1, 231億円余
2. 前年同月比	-1.1% (10か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-0.6%(90.2%) : 非店頭-5.4%(9.8%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成29年4月対比±0店)
5. 総店舗面積	847,497㎡ (前年同月比:-4.0%)
6. 総従業員数	18,538人 (前年同月比:-3.1%)
7. 3か月移動平均値	10-12月 -2.1%、11-1月 -1.3%、12-2月 -1.7%、 1-3月 -1.5%、2-4月 -1.3%、3-5月 -0.7%

[参考] 平成28年5月の売上高増減率は-4.5%

## 【特徴】

- (1) 東京地区の入店客数は、休日減の影響を受けながらも、各店が積極展開した催事等の誘客施策が奏功し、0.1%減とほぼ前年並みで推移した。特に、アニメキャラクターを用いたGWのファミリーイベントやカード会員向け優待企画の他、伝統工芸品展や外国展等にも人気が集まった。その結果、店頭売上(0.6%減)は前年並みを確保できたが、前年大口受注の反動から外販(非店頭5.4%減)が苦戦し、売上合計では全国を下回った。
- (2) 衣料品(5.1%減)は、売場をリース契約や雑貨に転換した店舗の影響等から、全国の水準を下回る結果となったが、基調としては、気温上昇に伴う季節需要の盛り上りで、夏物のブラウスやシャツ、スカート等軽衣料を中心に比較的堅調に推移した。また、子供服・洋品(0.8%増)については、インバウンド効果もあって3か月連続でプラスとなった。
- (3) 雑貨(6.5%増)は、国内・インバウンド共に好調な化粧品(16.2%増/26か月連続プラス)が牽引する形で、6か月連続のプラスとなった。また、食料品(0.02%増)は、GWの帰省土産や母の日ギフト等で菓子(0.6%増)が堅調に推移した他、地方物産展の効果からその他食料品(4.4%増)が高い伸びを示すなど、3か月ぶりに前年実績を上回った。
- (4) プレミアムフライデーは引き続き食をテーマとした商材やイベントが好評で、限定商品の購入やセミナー・コンサート等への参加が増えるなど、認知度は着実に高まっている。
- (5) 6月中間段階の商況は、1.6%増(6/15)で推移している。

## 【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)  
①増加した: 4店、②変化なし: 9店、③減少した: 6店
- (3) 5月歳時記(GW、母の日)の売上 (同上/有効回答数12店舗)  
①増加した: 3店、②変化なし: 7店、③減少した: 2店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2017年05月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>123,179,140</b>	<b>100.0</b>	<b>-1.1</b>
紳士服・洋品	11,516,338	9.3	-4.7
婦人服・洋品	21,641,708	17.6	-5.8
子供服・洋品	2,652,532	2.2	0.8
その他衣料品	2,193,418	1.8	-6.4
<b>衣 料 品</b>	<b>38,003,996</b>	<b>30.9</b>	<b>-5.1</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>18,229,872</b>	<b>14.8</b>	<b>-2.4</b>
化粧品	12,544,165	10.2	16.2
美術・宝飾・貴金属	8,344,577	6.8	2.1
その他雑貨	5,252,282	4.3	-5.7
<b>雑 貨</b>	<b>26,141,024</b>	<b>21.2</b>	<b>6.5</b>
家 具	1,239,269	1.0	-6.1
家 電	773,883	0.6	-0.3
その他家庭用品	3,593,861	2.9	-17.2
<b>家 庭 用 品</b>	<b>5,607,013</b>	<b>4.6</b>	<b>-12.9</b>
生 鮮 食 品	4,179,743	3.4	-5.0
菓 子	7,176,125	5.8	0.6
惣 菜	6,275,645	5.1	-2.6
その他食料品	8,337,238	6.8	4.4
<b>食 料 品</b>	<b>25,968,751</b>	<b>21.1</b>	<b>0.0</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>3,067,253</b>	<b>2.5</b>	<b>-2.3</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>2,260,791</b>	<b>1.8</b>	<b>2.6</b>
<b>そ の 他</b>	<b>3,900,440</b>	<b>3.2</b>	<b>10.4</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	2,118,558 千円	-2.7
従 業 員 数	18,538 人	-3.1
店 舗 面 積	847,497 m <sup>2</sup>	-4.0

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が6か月連続、食料品が3か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が19か月連続、身のまわり品が10か月連続、家庭用品が9か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が26か月連続、子供服・洋品が3か月連続、その他食料品が2か月連続、菓子が2か月ぶり、美術・宝飾・貴金属が5か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-1.1</b>	<b>-</b>	<b>10か月連続マイナス</b>
紳士服・洋品	-4.7	-0.5	4か月連続マイナス
婦人服・洋品	-5.8	-1.1	19か月連続マイナス
子供服・洋品	0.8	0.0	3か月連続プラス
その他衣料品	-6.4	-0.1	2か月ぶりマイナス
<b>衣料品</b>	<b>-5.1</b>	<b>-1.6</b>	<b>19か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>-2.4</b>	<b>-0.4</b>	<b>10か月連続マイナス</b>
化粧品	16.2	1.4	26か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	2.1	0.1	5か月ぶりプラス*
その他雑貨	-5.7	-0.3	2か月ぶりマイナス*
<b>雑貨</b>	<b>6.5</b>	<b>1.3</b>	<b>6か月連続プラス</b>
家具	-6.1	-0.1	5か月連続マイナス
家電	-0.3	0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-17.2	-0.6	2か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-12.9</b>	<b>-0.7</b>	<b>9か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-5.0	-0.2	15か月連続マイナス*
菓子	0.6	0.0	2か月ぶりプラス*
惣菜	-2.6	-0.1	11か月連続マイナス*
その他食料品	4.4	0.3	2か月連続プラス*
<b>食料品</b>	<b>+0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>3か月ぶりプラス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-2.3</b>	<b>-0.1</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>2.6</b>	<b>0.0</b>	<b>3か月ぶりプラス</b>
<b>その他</b>	<b>10.4</b>	<b>0.3</b>	<b>6か月連続プラス</b>
<b>商品券</b>	<b>-2.7</b>	<b>0.0</b>	<b>4か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>